

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地理学概論
科目基礎情報						
科目番号	3016		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修科目: 2		
開設学科	メディア情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	0		
教科書/教材	教員が作成した講義資料および演習課題(学内サーバー上で順次公開)、インターネット上で利用可能な各種資料・データベース・Web-GISなど(授業内で指示)、Adobe ReaderまたはPDFを表示し注釈記入できるアプリ					
担当教員	木村 和雄					
到達目標						
①現代社会を構築してきた人々の活動とその背景を系統地理学的に把握する。②社会を表現する様々な空間情報を統計や地図を通じて理解する。【Ⅲ－C】【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】【Ⅶ－E】						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル (可)		
現代社会を構築してきた人々の活動とその背景を系統地理学的に把握する。		将来、受講生が活躍する「場」の地域像をイメージでき、その改善に関わる意識を持つ。	自然環境・人口・産業立地の地域性を生んだ要因・過程を理解できる。	自然環境・人口・産業立地の地域性を理解できる。		
社会を表現する様々な空間情報を統計や地図を通じて理解する。		気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等から、地域差を生む要因を説明できる。	気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等から、地域の特徴をイメージできる。	気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等を読むことができる。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	授業は主に講義形式で行う。講義は系統地理学各分野のうち、1)地圏環境と空間利用、2)人口の分布・構造と変化、3)産業立地の3テーマに焦点を当てる。この構成は、近代以降現在に至るまでの日本あるいは日系企業の「3)製造業立地」による地域への影響を理解すること最終目標とし、それと密接に関わる背景や要因として、日本あるいは世界各地の「2)人口」や「1)地圏環境」などの地域特性を把握してもらうことを意図している。それぞれについて、知識や情報読解能力の定着を定期試験で評価する。ただし、4回の定期試験のうち、1回(前期末)は、防災等に直結する身近な地圏環境を理解することを主目的に、第7-13週の講義内容を踏まえて実施する第14-15週の演習の成果品(レポート等)の評価をもってこれに替える。					
授業の進め方・方法						
注意点						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	地理学への招待	地理学の全体像と授業の狙いや進め方を概説する		
		2週	統計気候 1	気候要素と地球規模の成帯的な統計気候を学ぶ		
		3週	統計気候2	気象統計を用いた地域区分の方法を実習する【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		4週	統計気候3	日本各地の統計気候的位置を知る		
		5週	総観気候	天気図や気象衛星画像の気候学的判読方法を学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		6週	植生と土壌	気候との関係が深い地圏環境について学ぶ		
		7週	水文環境	様々なスケールにおける水の分布と動きについて知る		
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	地形の形成要因	地形を造る力＝営力について知る		
		10週	地殻変動と火山活動による地形	大規模な地形の骨格となる変動地形・火山地形を学ぶ		
		11週	浸蝕作用と地形	浸蝕作用や重力の影響が大きい斜面の地形を学ぶ		
		12週	堆積作用と地形	堆積作用が卓越する平坦地(低地)の地形を学ぶ		
		13週	暮らしの基盤としての地圏環境	地圏環境に関する地理学の応用法について学ぶ		
		14週	地圏環境情報の活用1	任意の地域におけるWeb-GIS等の活用演習を行う【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		15週	地圏環境情報の活用2	任意の地域におけるWeb-GIS等の活用演習を行う【Ⅶ-C】【Ⅶ－E】		
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	世界の人口 1	地球規模の人口分布と近世以降の人口推移を学ぶ		
		2週	世界の人口 2	世界各地における人口の基本構造を学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		3週	世界の人口 3	世界各地の人口(社会)問題・人口政策を学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		4週	世界の人口 4	世界各地における人口の社会構造と戦後の人口移動を学ぶ		
		5週	日本の人口 1	日本の人口分布と戦後の人口推移を学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		6週	日本の人口 2	日本各地における人口の構造的特徴(問題)を学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－D】		
		7週	日本の人口 3	日本国内における戦後の人口移動について学ぶ【Ⅶ-C】【Ⅶ－E】		
		8週	後期中間試験			

	4thQ	9週	産業基盤の地域性1	中世以降の世界における第1次産業立地を概観する
		10週	産業基盤の地域性2	近代以降の日本における第1次産業立地を概観する
		11週	近代工業の成立と展開	近代以降における世界各地の工業立地について学ぶ【Ⅷ-E】
		12週	日本の工業地域1	日本における近代工業の成立と地域展開を学ぶ【Ⅷ-E】
		13週	日本の工業地域2	現代⇄構造転換期の工業立地を分析する【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】【Ⅷ-E】
		14週	日系企業の拠点立地	製造業拠点立地における業種別の動向を学ぶ【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】
		15週	工業立地の地域性とその変容	工業立地の地域別の事例と地域社会との関係性を学ぶ【Ⅷ-E】
		16週	期末試験	

評価割合							
	試験	発表	レポート	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	20	0	0	20	100
基礎的能力	55	0	15	0	0	0	70
応用力	5	0	5	0	0	0	10
主体的・継続的 学習意欲	0	0	0	0	0	20	20